

心つないで

No. 16

発行

2011年8月8日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

「逆に、勇気づけられました」

第5陣・垂井看護師と塩江主任の報告



● 津波のパワーに絶句

8月3日、午後から釜石市の被害状況を見に行ってきました。テレビでもよく見られる光景ですが、道路に乗りだしている大型船です。津波のパワーにはただ驚くばかりです。街の信号が復旧していないところが多かったです。【写真・左上】



● 8月4日、気になる被災者宅を再度訪問

実働、最終日に、前任から引き継いだ気になる被災者のお宅を再度訪問しました。留守宅が多いのですが、中には心を開いてくださる方もいらっしゃいます。前向きに生きようとする被災者の話には、逆にこちらが勇気づけられました。社会資源的には、訪問診療が充実すれば助かる人が多いように感じます。【写真・右上】

原発・学習講演会に120人

★ 8月6日、シマブンホールで「原発学習会」を開催。多くの市民も含めて約120人が参加。熱心に学びました。

福島の子どもたち

■ 23人が神戸を満喫

友誼生協の福島中央市民医療生協の職員の子どもさん23人が神戸を訪れ、5日から8日まで、3泊4日の日程で、神戸を満喫してもらいました。

【写真・右】

一行は、5日の歓迎会のあと、王子プール・王子動物園・須磨海浜水族園・「アトリエ太陽の子」・異人館などを訪れ、被災地での窮屈な生活をひととき忘れて、久しぶりの歓声をあげて楽しみまし

この模様は、NHKや民法各社も取材・放送するなど、地域にも発信されました。



ご協力いただいた職員・組合員・地域のお店や団体・個人の皆さまに感謝申し上げます。